

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	総務部	契約検査課	内線等	2352
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	工事入札・契約事務事業				
根拠法令等	地方自治法第234条外・蒲郡市契約規則		(A) 法令	B 条例	(C) 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

その他	その他
-----	-----

事務事業の内容

対象	契約依頼課と請負業者との工事契約を
手段	1課で集中的に執行することによって
想定する成果	効率的な執行を図る

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
指名競争入札による契約	266	295	320
一般競争入札による契約	10	19	30

成果指標

成果指標名	職員一人当たりの指名競争入札による工事契約件数	職員一人当たりの一般競争入札による工事契約件数
成果指標の説明	指名競争入札による契約件数 / 担当職員数	一般競争入札による契約件数 / 担当職員数

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			128件
	実績	110.8件	118.0件	
成果指標	計画			12件
	実績	4.2件	7.6件	
事業費	事業費	756	1,632	1,793
	人件費	20,059	20,658	21,055
	(人数)	2.40	2.50	2.50
	合計	20,815	22,290	22,848
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	20,815	22,290	22,848

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	より一層の公平性、透明性、経済性が求められる。
経済効率性	1	1	経済効率性、事務効率性を高める新しい入札契約制度を検討する必要がある。
事務効率性	1	1	経済効率性、事務効率性を高める新しい入札契約制度を検討する必要がある。
必要性	3	3	基本計画の実現のために、不可欠な行政内部事務であり、より一層の公平性、透明性、経済性を高めた事業の推進を図る必要がある。
小計	7 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度			
合計	7 / 15 満点中	7 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	基本計画の実現のために、不可欠な行政内部事務であり、さらなる公平性、透明性、経済性を高めた事業を推進する必要がある。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> ・平成13年度に工事管理システムを導入し、依頼課と担当課との効率のよい事務処理を図り、平成14年度には、工事管理システムの修正を行い、さらに事務処理の効率化に努めた。 ・平成14年度においては一般競争入札の件数を前年度のおよそ2倍に増加させた。

今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・さらに業者選定の平準化を図り、不正のできにくい透明性のある入札方式の導入、各種情報の開示など新しい入札制度の検討。 ・引き続き一般競争入札による契約を増やし、さらなる公平性・透明性・経済性を高める点をふまえて、効率のよい事務を推進する。
--

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	総務部	契約検査課	内線等	2356
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	工事検査事務事業		
根拠法令等	蒲都市工事検査要綱		A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け
基本目標

施策名	その他
-----	-----

事務事業の内容

対象	各課等が執行している工事について
手段	中間検査並びに完了検査を実施することにより
想定する成果	契約内容に基づき、適正かつ効率的な履行の確認を行う

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
検査対象工事件数	1,025	1,021	
工事総検査件数	461	451	
完了検査件数	459	440	

成果指標

成果指標名	工事総検査率	完了検査率
成果指標の説明	工事総検査件数 / 検査対象工事件数	完了検査件数 / 検査対象工事件数

事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			
	実績	45.0%	44.2%	
成果指標	計画			
	実績	44.8%	43.1%	
事業費	事業費	3,600	2,315	1,533
	人件費	25,704	24,789	25,266
	(人数)	3.00	3.00	3.00
	合計	29,304	27,104	26,799
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	29,304	27,104	26,799

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	基準点未満件数が、目標値より若干上回った。
経済効率性	2	2	工事台帳管理システム・積算システム等の利用により事務量の軽減化を図った。
事務効率性	2	2	年度末に3割以上の完了検査が集中するため、工事担当課の早期発注等の協力が必要である。
必要性	2	2	工事下請・工事体制等のチェックは今後も引き続き必要であり、一層の強化が望まれる。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度			
合計	8 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	工事発注のあり方、請負業者の施工管理技術水準の更なる向上に努める。
------	---	---	-----------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> ・技術職員に対して、技術研修を実施し、技術職員の質の向上を図った。 ・年度末工事の最終工期を3月15日から3月10日に変更し、年度末の検査集中の緩和を図った。
--

今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・工事担当課へ前年度に設計を行うなど早期発注を促す必要がある。 ・年度末における最終工期を早める等有効な対策をたて、完了検査の平準化を図る。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	総務部	契約検査課	内線等	2352
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	物品調達事務事業		
根拠法令等	蒲都市物品調達基金条例・同施行規則	A 法令	B 条例	C 規則	D その他 E なし

総合計画での位置付け
基本目標

施策名	その他
-----	-----

事務事業の内容

対象	消耗品、燃料等の購入に際して
手段	請負業者と物品単価契約を締結し、物品の発注・管理・払出を1課で集中的に行うことにより
想定する成果	効率的な物品調達を図る

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
物品調達取扱件数	8,571	8,593	
物品調達取扱金額	34,783,617	33,553,329	

成果指標

成果指標名	職員一人当りの物品調達取扱件数	職員一人当りの物品調達取扱金額
成果指標の説明	取扱件数 / 担当職員数	取扱金額 / 担当職員数

事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			
	実績	5,357件	5,729件	
成果指標	計画			
	実績	21,740円	22,369円	
事業費	事業費	7,154	8,346	8,509
	人件費	13,373	12,395	12,633
	(人数)	1.60	1.50	1.50
	合計	20,527	20,741	21,142
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	20,527	20,741	21,142

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	毎年度、成果指標は安定しており、一定の成果は上がっていると思われる。
経済効率性	2	2	契約検査課で単価契約を行うことにより、適正な単価水準を維持している。
事務効率性	2	2	物品調達基金制度により各課の消耗品等の注文・支払等について合理的な事務が行われている。
必要性	3	3	各種事業を円滑に推進するための重要度は極めて高い行政内部事務であり、有効性、効率性を考えながら、事業の推進を図る。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度			
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	各種事業を円滑に推進するための重要度は極めて高い行政内部事務であり、有効性、効率性を考えながら、事業を推進している。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

・月2回の消耗品の物品調達（受注・発注・納品・払出）を月1回とし、契約検査課の事務軽減を図った。

今後改善すべき点

・物品調達基金制度に代わる新しい方式を研究することも大切である。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載